

一般社団法人国際再生医療普及協会  
 特定認定再生医療等委員会議事要旨

日 時：2020年7月29日（水）15：00～16：00

開催場所：東京都江東区青海 2-4-32 タイム 24 ビル 19階会議室

|   | 摘要                             | 氏名           | 出欠 | 利益相反     |            |
|---|--------------------------------|--------------|----|----------|------------|
|   |                                |              |    | 医療機<br>関 | 委員会<br>設置者 |
| 1 | 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家 | 石井 伊都子       | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 鈴木 邦子        | ○  | 無        | 無          |
| 2 | 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者 | 齋藤 康<br>※委員長 | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 落谷 孝広        | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 寺井 崇二        | ×  | —        | 無          |
| 3 | 臨床医（現に診療に従事している医師又は歯科医師）       | 大西 晋介        | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 中林 正雄        | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 竹本 稔         | ○  | 無        | 無          |
| 4 | 細胞培養加工に関する識見を有する者              | 木田 泰之        | ○  | 無        | 無          |
| 5 | 法律に関する専門家                      | 真砂 靖         | ○  | 無        | 無          |
| 6 | 生命倫理に関する識見を有する者                | 川上 祐美        | ○  | 無        | 無          |
| 7 | 生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者        | 林 邦彦         | ○  | 無        | 無          |
| 8 | 前7号に掲げる者以外の一般の立場の者             | 宮内 明子        | ○  | 無        | 無          |
|   |                                | 中山 ちはる       | ×  | —        | 無          |

【技術専門員】

千葉大学医学部附属病院 麻酔・疼痛・緩和医療科 センター長 田口 奈津子

【審査資料】

- 資料1 提出資料一覧\*1～33（事務局受領年月日；2020年6月18日）
- 資料2 チェックリスト IGT
- 資料3 各資料修正箇所 IGT クリニック
- 資料4 評価書\_技術専門員
- 資料5 質疑指摘内容一覧

\*別添参照

一般社団法人国際再生医療普及協会特定認定再生医療等委員会規則第6条第3項の定めにより、齋藤委員長は議長となり、本委員会の開会を宣言し、本日の出席委員を報告した。ついで本委員会の審議に必要な法定の成立要件を充足している旨を述べた。

審査：新規

医療機関：医療法人龍志会 IGT クリニック

管理者：堀 篤史

議題：慢性疼痛緩和を目的とした自己脂肪由来間葉系幹細胞治療

結果：適

IGT クリニック堀医師より、本件について概要の説明が行われ、出席委員との質疑応答が行われた。

審議の結果、下記に関し修正を行い、修正内容を迅速審査で確認した上、本提供計画を実施することに問題ないとの結論で、参加委員全員の意見が一致した。

**【修正内容】**

- ・疼痛コントロールの治療薬は減量が可能なことを追記
- ・疼痛コントロールの追加を行わないよう可能な限り患者にお願いする旨追加
- ・治療カードの作成
- ・D-ダイマー検査の追加

以上